

# ひびき通信

平成 23 年  
6 月 版

## 緊急時の安否確認等を検討

グループホーム響の第九回運営推進会議がこのほど、当センター会議室で開催されました。会議では、震災時、

グループホーム響  
運営推進会議を開催

電話が不通となったことから、災害時の安否に関する情報を受発信できる対応について検討することになりました。また、栗谷消防団員の方々に施設見学に来てもらうことなど、緊急時の対応についてを話し合いました。

# センターを彩る花の写真の“定期便”

## カメラ歴四十年の常松さん

### 四季折々の花の写真を無償で貸し出し



在宅サポートセンター生田のデイサービスやグループホームのフロアに飾られている見事な牡丹の花のフォトグラフ。この写真を撮影し額装したものを

無償で届け、展示してくれているのが、同じ栗谷町内に住む常松茂男さん。写真です。マクロレンズで撮った写真は、瑞々しい花の感触が伝わるようなできばえ。「私の撮った写真で皆さんの心が少しでも和んでもらえたら」と目を細める常松さんです。

### 生命感あふれる花の写真に「元気」をもらっています。

常松さんの「花の写真ボランティア」が始まったのは、今から二年ほど前のこと。栗谷町内で開催された「高齢者のつどい」で金田センター長と出会ったことがきっかけでした。「同じ町内に介護のための施設があること。そこで

お年寄りを元気にする介護が行われていることを知り、私も何かお手伝いしたいと思ったのです」と当時を振り返ります。そこで思いついたのが趣味で撮影し額装した花の写真を施設に届ける「写真ボランティア」でした。

## 六月十二日に家族の会を開催

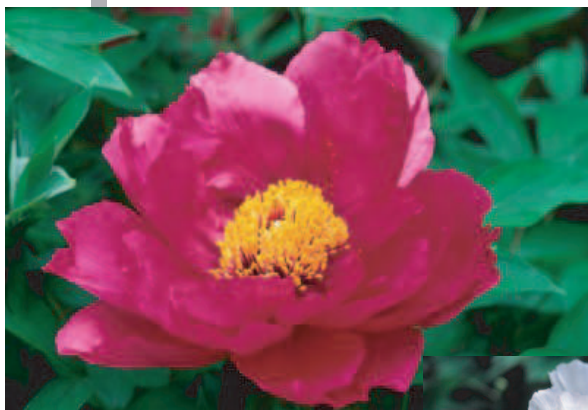
日頃の不安や悩み  
ご相談ください

在宅サポートセンター生田の第四回「家族の会」が、六月十二日(日)に当センターで開催されます。

この会では、普段、顔を合わせないご家族様に、交流の場を提供すると同時に、相談の場

も提供いたします。ご家族様が抱えている介護に関する悩みや不安をお聞きすることで、普段のサ

ビスを振り返り、よりよいケアに結びつけることが大きなねらいです。会は午後一時からデイサービス響のフロアで開催します。ぜひご参加ください。



常松さんが撮影した瑞々しい牡丹の花。



四十年以上のカメラ歴を持つ常松さん。草花を接写レンズで撮影し始めたのは定年を迎えてから。以前はカメラ仲間と撮影旅行などにも出かけていたといいますが、今では、自宅の庭に咲く季節の花々はもちろん、近隣の花の名所に出かけてはカメラを向けます。あくまで接写にこだわ

る理由は「標準レンズでは写しきれない、生命の力強さ、輝きを切り取ることができるのが何よりの魅力」と語ります。

三年目を迎えた常松さんの「写真ボランティア」。今回はバラの花を届けたたい、と愛機のニコン F4 を手にシャッターチャンスを狙っています。

## こだわりの入浴セミナー

6月19日開催  
実際にお湯に入り  
介助のコツを学ぶ  
在宅サポートセンター生田  
定員15名 受講者募集中です